

①

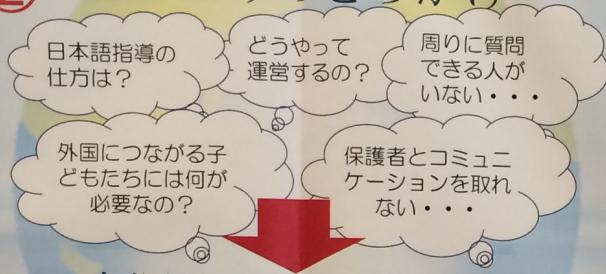
2016/3/26

国際教室担当者が 学び合える場の構築を 目指して

—横浜市国際教室ネットワーク勉強会からの発信—

横浜市立並木第一小学校
国際教室担当 横溝 亮
tr-yok01@edu.city.yokohama.jp

② 立ち上げのきっかけ



横浜市国際教室ネットワーク勉強会

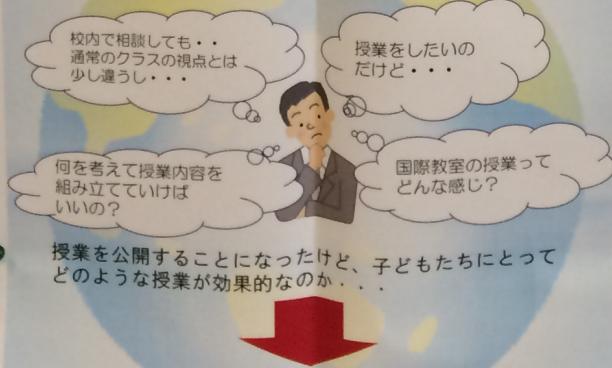
【設立に協力いただいた方々】横浜市教育委員会
外国语が多数在籍する学校の校長先生・国際教室担当者

③ 勉強会の内容

平成27年度の実践内容

月	内容	月	内容
5月	日本語指導・個別の指導計画について (作成の仕方等)	11月	国際教室の授業内容検討 (国語科)
7月	日本語指導についてワークショップ	1月	JSLカリキュラムについて JSLカリキュラムを使った授業づくり
9月	国際教室一齊授業に向けて 授業内容検討 (日本語)	3月	今年度のまとめ 各学校の成果と課題

④ 授業づくりの視点



⑤ 国際教室・授業に向けて

前回、行った授業の指導案があるから、参考にしてね。

もっと、言葉にこだわって授業をしたほうがいいよ。

勉強会で授業の内容を検討することで、担当者の視点からたくさんのアドバイスをもらうことができました。

一般級の先生が見に来られる時間に、授業を設定すると、国際教室のことをもっとわかってもらえそうだよ。



通常のクラスとは違うから、もっと体験を入れたりして、それを文章にする作業をしてみたら!

⑥ 参加者の声

Q. 横浜市国際教室ネットワーク勉強会（以下、勉強会）にどのような目的で参加していますか？

- ・特殊な学校事情を抱えていて国際教室の運営も独特なため、ほかの学校の国際教室の運営を知りたい。
- ・他校の国際教室の様子を知りたい。
- ・具体的に指導をどのようにしていくか学びたい。

Q. 勉強会と委員会主催の研修との違いはどのような部分にあると考えますか？

- ・情報交換をするだけでなく、担当者同士で互いに学ぶ場である。
- ・勉強会の活動に理解のある講師の先生方が来てくださる。
- ・教材とその使い方の共有ができる。

⑦ 勉強会の成果

- ・少人数で研修を行うことで、日常的なつながりができ、情報交換を密に行うことができた。
- ・日本語等の指導方法以外の内容（他地域や大学等の研究会の様子）も取り上げることで、「国際教室担当」の専門性の向上、担当者としての意識の向上につながった。
- ・国際教室の授業を考える際、担当者の視点で授業を考えたり、アドバイスをしたりすることができ、校内の検討会では出されなかつた意見が多く出された。
- ・日本語指導専門の大学教員にアドバイスをいただくことで、日本語指導、担当者としての専門性の向上につながった。

⑧ 勉強会の課題

- ・担当者として経験が浅い教員が多く、勉強会の内容に深まりがないことがある。
- ・外国语児童の減少や校内事情により、連続して担当者にならない場合がある。
- ・年度当初には、担当して間もない教員の参加が多く、実践が積み重なっていない。
- ・会を運営していく人材が不足している。

